

平成 29 年度 久良岐能舞台指定管理者業務評価表（外部評価）

	芦澤委員	足立委員	諸貴委員	横山委員
I 文化事業目標	<p><b>【評価できる点】</b> 日本の伝統芸能の敷居の高さを解消し、地域に開かれた施設となることを目指した、幅広い事業運営について評価できると思います。自己評価からも、詳細な実施報告と課題の提示がなされています。PDCA がしっかりなされていることが伺えます。 また、ヒアリングを通じて、新館長のリーダーシップの下で、新しい公演者を発掘して古典芸能の従来の枠組みを超えて挑戦しようとしていることがわかりました。そうした取組を高く評価します。特に幼児子供向け公演については手応えがあったとのことで、今後はこうした活動が広く周知され本施設の特徴あるプログラムとして成長していくよう期待します。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> 新館長による新しい事業方針については、従来の方針を前提とした業務評価項目の中に入りきらないようです。自己評価シートの見直しを検討して、意義ある事業取組みがしっかり見える化されるよう改善をお願いいたします。</p>	<p><b>【評価できる点】</b> ・多数の講座を運営し、市民が稽古や体験をする場としての施設の特性に応じた運営がなされ、評価できます。 ・小学校向け狂言教室では、日常生活では馴染みのない、言葉遣い等について、分かりやすく、親しみやすい解説がなされ、鑑賞の前の気持ちの盛り上げにもつながっていると感じました。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・講座受講者や子供を通じた取り組みを親や学校、地域につなげ、愛好者増加に発展できるよう工夫してほしいです。</p>	<p><b>【評価できる点】</b> 狂言鑑賞教室を開催して地域の子どもたちが能楽に触れる機会を継続していること、また市民が古典芸能を体験できる講座を開催していることを評価します。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> 目標人数未達の事業については効果的な情報発信に取り組むなど広報の強化を期待したい。</p>	<p><b>【評価できる点】</b> 古典芸能の体験機会の提供は、おおむね目標通りの実績を残し、参加者の満足度も高かった。 「小学校向け狂言鑑賞教室」を視察したが、限られた時間のなかで質量ともに非常に充実していた。類例企画は多いが、これに匹敵するほどの熱気を会場から感じたことがない。小学生が引き込まれている様子は感動的だった。講師（善竹富太郎）の力量ももちろんだが、舞台と見所が近いこの能舞台ならではの熱気だったようにも思われる。非常に大きな可能性を感じた。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> 「能 狸々乱」の目標未達だったが、能の公演についてその他の事業（講座や鑑賞教室）とリンクした広報の可能性を検討してはどうか。せっかく「小学校向け狂言鑑賞教室」に参加した教員と生徒の満足度が高いのだから、これを別の事業にリンクして広報等に活用する工夫があってよいのではないか。 市民向け講座への参加者を毎年更新しなくてはならないとのことだが、せっかくの満足度の高い参加者と1年限りで縁が切れるのは残念な気がする。講座以外へ巻き込んでいく取り組みはないのか知りたい。</p>
II 施設運営目標	<p><b>【評価できる点】</b> 立地条件等、必ずしも恵まれていない中で、継続的に施設価値向上に取り組んでいる姿勢を評価します。 新館長が近隣文化施設等との連携を模索し、関係性を構築しているとの姿勢について、今後の発展が楽しみです。引き続きの尽力をお願いいたします。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> 営業等されているようですが、例えば、横浜能楽堂や他の文化施設との情報交換、互いの補完関係の構築などなさったらどうでしょうか。</p>	<p><b>【評価できる点】</b> ・新規の利用団体が増加したり、写真撮影で施設を活用するなど、利用が広がる工夫がされています。また、近隣施設との連携やアンケートの意見を事業に反映するなどの積極的な姿勢を評価します。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・各事業に対する満足度が高いので、それを稼働率の向上や利用者数の増加につなげるよう、広報の工夫など利用者、鑑賞者へのアプローチ方法を工夫することで、施設や事業の効果を最大化してください。 ・また、愛好者の高齢化が進む中、施設単体では裾野の拡大は難しいことから、地域や他の公共施設、学校等との連携が重要であり、市を含めた体制や事業を検討してください。</p>	<p><b>【評価できる点】</b> 利用促進の取り組みが成果を上げ、施設利用率について概ね目標を達成していることを評価します。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> 特になし。</p>	<p><b>【評価できる点】</b> ウェブサイトの更新、チラシ配布など、情報配信・広報に積極的に取り組んでいる。 苦情への対応に関する業務自己評価において、来館者からの「椅子の配置が良くない」「鏡の間の備品が幕あげの際にみえてしまう」といった意見を具体的に示してそれに対応したことを報告している。こうした具体的記述があるおかげで、苦情への誠実な対応姿勢が伝わってくる。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> ウェブサイトをスマホでも PC でも大きな字で読めるように、レスポンスデザイン化が必須だろう。また、貸館利用者を掘り起こすような発信の工夫が必要だろう。</p>

平成 29 年度 久良岐能舞台指定管理者業務評価表（外部評価）

	芦澤委員	足立委員	諸貫委員	横山委員
Ⅲ 施設管理目標	<p><b>【評価できる点】</b> 堅実な管理がなされていると思います。自分たちで館内を歩き、目で見て改善点をみつけ、こまめに改善活動を行っていることを確認できました。そのような姿勢も続けて欲しいと思います。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> 特にありません。</p>	<p><b>【評価できる点】</b> ・庭園等の管理を市民と協働で行うなど、限られた体制の中で、施設の特徴を生かした管理が行われていることを評価します。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・老朽化が進行していることから、施設を現場で管理する視点から、必要な修繕等については、気づいた点を早めに市に指摘するなど、長期的に施設が安全かつ快適に使えるよう情報共有に努めてください。</p>	<p><b>【評価できる点】</b> 施設・設備の維持管理のための様々な取り組みが適切に行われていることを評価します。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> 特になし。</p>	<p><b>【評価できる点】</b> 堅実に施設管理をおこなっている。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b></p>
Ⅳ 収支	<p><b>【評価できる点】</b> 堅実な収支管理をされていると思います。新しい事業（婚礼前撮り事業）などはアイデアと実行力があって収益源としても成長してきているようです。今後はこのような新しい事業への取り組みを続けて行って欲しいです。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> 赤字になっていることについて、今後改善が必要と思います。費用面での工夫はもちろん、新しい事業を生み出す工夫を続けていってください。</p>	<p><b>【評価できる点】</b> ・指定管理料に頼らない経営として、写真撮影での活用等新たな収入増加の取り組みをされる一方、経費の削減に努めている点について評価します。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・収支改善の取り組みをされていますが、赤字となっている点について、今後の収支改善の見通しを含め、対応が必要です。</p>	<p><b>【評価できる点】</b> 経費の節減及び新規利用者の獲得や助成金獲得など収入増加への取り組みを評価します。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> 収支全体での赤字は問題です。収支改善に向けさらなる努力を期待します。</p>	<p><b>【評価できる点】</b> 婚礼写真前撮りといった新しい試み。ちなみにウェブサイトにはこういう場合に利用料がどれくらいといった情報がなかったので、具体的な収支を知りたい。</p> <p><b>【改善が必要と考えられる点】</b> 単に公演企画の助成だけでなく、地域や学校との連携を軸としたプロジェクトなどで積極的な助成金・協賛金の獲得が求められる。</p>
その他	(I～IV以外で何かお気づきの点があれば御記載ください)	(I～IV以外で何かお気づきの点があれば御記載ください)	(I～IV以外で何かお気づきの点があれば御記載ください)	(I～IV以外で何かお気づきの点があれば御記載ください)

	芦澤委員	足立委員	諸貫委員	横山委員
総括	<p>新館長のリーダーシップの下で、新しい久良岐能舞台の可能性を楽しみにしています。引き続きの挑戦、そして堅実な事業運営を期待したいと思います。</p>	<p>個々の事業については、満足度が高く、これに対して高く評価できるものの、参加者数や稼働が目標に達していない面があるため、HP や SNS の活用、学校を通じた広報等、施設の有存在や事業内容を知らしめる情報発信の工夫が必要です。</p>	<p>市民が身近に利用できる施設として能楽等の公演、講座を開催し古典芸能の裾野を広げる取り組みを行っていることを評価します。今後も、施設利用の促進、広報活動の充実等により市民に一層親しまれる施設となるよう期待します。</p>	<p>地理的には難しい条件もあるなかで、地域における伝統文化への入り口としての役割を果たしている。近隣の学校との連携には大きな可能性を感じた。この様子をもっと積極的に発信し、さらに拡大していくことはできないだろうか。また、そこに参加した生徒やその保護者を公演企画や講座企画へ巻き込んでいくなど、事業間の有機的連携の工夫が必要であると感じた。</p>

平成29年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H29年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
1 能楽等を知り、親しみ、体験することができる機会の提供	自然環境や空間特性を生かし、社会的包摂を意識し幅広い市民が能楽等を知り、学ぶことができる事業の実施	「日本舞踊 鑑賞と体験の会」					<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度からも課題になっていた能楽愛好者の高齢化等による自主事業参加者及び貸館利用者減少の傾向を踏まえ、チラシ配布枚数、配布箇所の効率的選別、メディア露出の向上等、久良岐能舞台の周知を図るべく、広報の努力を続けて参りましたが参加者の増加に繋がる実績をあげることができませんでした。</li> <li>・その反面、各講座講師のおかげもあり、講座受講生の定着は良く、講座卒業後も引き続き当館にて稽古を続けることで愛好者の蓄積は徐々に進んでいます。</li> <li>・「所蔵能装束公開展示」では、パネルを設置し、装束についての説明を掲載するようにしたところ、大変ご好評をいただくことができました。久良岐公園からの散策で来館される方も多いため、工夫を重ねることで能楽に今まで興味なかった方でも、興味を持ってもらうきっかけになればと考えています。こうした取り組みは、来年度以降も続けて参ります。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、5月に開催の日本舞踊及び謡・仕舞・囃子の体験講座は毎年参加者が減少する傾向があり、今後は講座受講生募集の方策を再検討します。</li> <li>・所蔵能装束公開展示+講演についてはアンケートを見ると、当館に来館したことのあるお客様が7割弱となっております。新規のお客様にももっとご来館いただくための案として、近場で日本文化を楽しんで頂くコピーで、装束展示+プロによる囃子の演奏+茶の湯で、「装束に囲まれた能舞台の魅力作り」などの取り組みを検討しております。また、装束の説明パネルにつきましては、外国の方向けに英文版も用意することを検討しております。</li> <li>・能公演とその事前ワークショップについては、今年度は参加人数が目標に届きませんでした。チラシの配布場所や広報の拡大を進行中です。地域の施設、磯子公会堂への狂言公演のサポートその副産物として頂いた入場整理券200枚を近くの団地自治体へ無料提供することで広報枠を獲得、七夕時には裏山の竹を切り出し7箇所の施設に無料配布などで好意的な関係を作っております。また、能楽初心者の方でも興味を持ってもらえるよう、公演内容についてもなるべく皆知っているようなもので検討するようにいたします。平成30年度は、教科書にも載っている源氏物語の「葵」巻に取材した作品である「葵上」を上演いたします。</li> </ul> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「久良岐能楽体験大会」は、平成28年度を上回る実績となり、より多くの方が能楽や能楽囃子に触れる機会を設けていることが確認できました。</li> <li>・事業において、積極的にアンケートを回収し、来館者のニーズに応じた事業を実施していることを確認しました。特に、施設特性や規模を活かした能の公演を助成金を活用して継続的に実施していることを高く評価します。また、能の公演の事前ワークショップを実施することで、能楽鑑賞の初心者等を対象とした来場者の受入に対応していることを評価しています。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数が目標未達となっている事業が複数見受けられる点が課題です。事業の参加者の満足度は高いことから、事業内容には魅力があるものの、事業の趣旨が伝わっていないことが原因と考えられるため、引き続き広報の強化に期待します。</li> <li>・能の仕舞・謡、お囃子、日本舞踊の講座受講生を募るためのワークショップに関しては、古典芸能や能舞台の魅力、日本文化を知ってもらう機会の提供を行い、講座への参加に繋げるための工夫が必要と考えます。</li> </ul>	
		■実施時期	4月	4月23日	-	日舞講座受講生募集のためのワークショップ型公演として実施。		
		□参加者数	50名	27名	C	20~70代まで幅広い世代の参加があったが、目標には届かず。		
		□顧客満足度	90%以上	100%	A	アンケート回収率74.1%		
		「久良岐能楽体験大会」				能楽講座受講生募集のためのワークショップとして実施。		
		第1部 やってみよう 謡・仕舞						
	■実施時期	5月	5月7日	-				
	□参加者数	30名	35名	A	男女同じくらいのバランスで参加があった。予定を上回る盛況だった。			
	□顧客満足度	90%以上	100%	A	アンケート回収率82.9%			
	第2部 やってみよう 能楽囃子							
	■実施時期	5月	5月7日	-				
	□参加者数	40名	36名	B	幅広い世代の参加があったが、目標には届かず。			
	□顧客満足度	90%以上	95%	B	アンケート回収率55.6%			
	2 市民の能楽等への関心や理解を深める機会として、久良岐能舞台所蔵の能装束等の展示・公開の実施	「所蔵能装束公開展示」						<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、5月に開催の日本舞踊及び謡・仕舞・囃子の体験講座は毎年参加者が減少する傾向があり、今後は講座受講生募集の方策を再検討します。</li> <li>・所蔵能装束公開展示+講演についてはアンケートを見ると、当館に来館したことのあるお客様が7割弱となっております。新規のお客様にももっとご来館いただくための案として、近場で日本文化を楽しんで頂くコピーで、装束展示+プロによる囃子の演奏+茶の湯で、「装束に囲まれた能舞台の魅力作り」などの取り組みを検討しております。また、装束の説明パネルにつきましては、外国の方向けに英文版も用意することを検討しております。</li> <li>・能公演とその事前ワークショップについては、今年度は参加人数が目標に届きませんでした。チラシの配布場所や広報の拡大を進行中です。地域の施設、磯子公会堂への狂言公演のサポートその副産物として頂いた入場整理券200枚を近くの団地自治体へ無料提供することで広報枠を獲得、七夕時には裏山の竹を切り出し7箇所の施設に無料配布などで好意的な関係を作っております。また、能楽初心者の方でも興味を持ってもらえるよう、公演内容についてもなるべく皆知っているようなもので検討するようにいたします。平成30年度は、教科書にも載っている源氏物語の「葵」巻に取材した作品である「葵上」を上演いたします。</li> </ul> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を中心とした子どもたちが能楽等に触れる機会として、横浜市芸術文化教育プラットフォームと連携をしたアウトリーチ事業の実施にとどまらず、インリーチ事業として、本物の能舞台での鑑賞機会の提供をするなど、積極的な対応の継続を高く評価しています。</li> <li>・事業の内容についても、身近に感じる機会の少ない能や古典芸能を学校で扱うにあたり、教員が子どもたちへ指導をする際に生かされているなど、適切なサポートを行っていることが確認でき、事業の趣旨や目的が達成できていると考えます。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能楽等に関心を持った子どもたちが継続的に能やその他の古典芸能に親しみ、愛好者として能楽等を継承する機会の提供や支援を積極的に行うことができると、次世代育成の幅が広がると考えます。既に実施している能楽講座や日本舞踊の講座において、子どもたちを受け入れることができること等、積極的なPRを実施することについて検討を進めてください。</li> </ul>
		■実施時期	9月	9月2日	-	虫干しを兼ねた恒例の装束展示。同時に能楽について専門家の講演を実施。		
□参加者数		50名	46名	B	普段来館されないような方にも立ち寄り見ていただいたが、目標には届かず。			
□顧客満足度		90%以上	95%	B	アンケート回収率[講演:93.9%][装束展のみ:92.3%]			
3 新規利用者の増加に向け、能楽等を中心とした様々な伝統芸能鑑賞等の機会の提供		「能楽の魅力発信プロジェクト 能 狸々乱」						
		■実施時期	1月	1月14日	-	能楽の普及活動として、日本芸術文化振興会より281,000円の助成金を獲得。		
	□参加者数	100名	88名	C	目標に及ばなかったが、熱心なお客様が多かった。			
	□顧客満足度	90%以上	98%	B	アンケート回収率68.2%			
	「第10回久良岐狂言会」				毎年定例の狂言会。人間国宝である山本東次郎師による狂言公演を実施。			
	■実施時期	3月	3月18日	-				
□参加者数	80名	97名	A	人間国宝の山本東次郎師にお願いしたこともあり、予定を上回る盛況だった。				
□顧客満足度	90%以上	100%	A	アンケート回収率66%				
4 ワークショップ等による能楽等の市民の関心や興味を広げる普及啓発事業の実施	「能の魅力発信プロジェクト 事前ワークショップ 能 狸々乱を知る」							
	■実施時期	12月	12月17日	-	能は内容を知らないとなしめなない芸能のため、公演前にシテを勤める能楽師と解説者により詳しく学べるワークショップを実施。			
	□参加者数	40名	29名	C	目標には及ばなかったが、能を理解したい熱心なお客様ばかりだった。			
□顧客満足度	90%以上	100%	A	アンケート回収率65.5%				
5 愛好家未達の立ち位置にある市民へのアプローチ	久良岐まつり 能舞台イベント							
	■実施時期	10月	10月21日・22日	-	地域市民と協働して開催する久良岐まつり21日は能舞台の市民利用の日、22日は能楽を一般市民に馴染んで頂く日とした。			
	□参加者数	100名	62名	C	21日:童謡コンサート(横浜童謡協会主催) 22日:狂言道場			
	□顧客満足度	90%以上	100%	A	台風接近による影響で、久良岐まつりの庭園行事が中止となったため、人が集まらず目標人数に達することができなかった。			
□顧客満足度	90%以上	100%	A	アンケート回収率[21日:68.6%][22日:96.3%]				
2 子どもたちへの文化芸術へ触れる機会の提供、能楽等の継承のための取組	6 地域コミュニティを巻き込んだ、インリーチ事業等による、能楽等の伝統芸能の体験講座の実施	「小学校向け狂言鑑賞教室」 ※ 磯子区・港南区・南区の公立小学校6年生対象				<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献事業として毎年開催している小学校向け狂言鑑賞教室は、例年通り実施しました。本事業では参加校の先生方への事前打ち合わせなども行っており、先生によっては、ここでの経験を転勤後も参考になさる例がある等、子どもたちを指導する教員への支援にも繋がっています。</li> <li>・横浜市芸術文化教育プラットフォームのアウトリーチ事業に伝統芸能コーディネーターとして参加しており、小学校向け狂言鑑賞教室と同等の内容を参加校において実施しました。伝統芸能のなかでも狂言鑑賞を希望する学校が多い反面、伝統芸能(狂言)を扱うコーディネーターは少ないようです。久良岐能舞台で5校の学校を受け持つことで、学校側、横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局の双方に大変お喜びいただくことができました。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校向け狂言鑑賞教室は引き続き実施します。これまでの狂言鑑賞教室は当社による企画を実施してきましたが、30年度以後については演目や狂言の体験方法について等、学校側の意向を調査し、事業に反映させることを検討します。</li> </ul>		
		■実施時期	11月(3日間)	11月13日・22日・27日	-		1日3回(午前2回、午後1回)実施。	
		□参加者数	1,200名以上	参加校13校 1054名	-		参加校は各区校長会で決定するため、組合せて参加生徒数が変わる。	
		□顧客満足度	90%以上	100%	A		終了後、各校先生方にヒアリング。大変ご満足いただけた。	
	7 横浜市芸術文化教育プラットフォーム等のアウトリーチ事業により、幅広い子どもたちへの能楽等体験事業の実施	「狂言鑑賞教室」						
		■実施時期	参加希望校と調整	9月13日・9月20日・11月1日・12月8日・12月18日	-		久良岐能舞台受託校数5校	
		■参加者数	参加希望校による(5校程度)	参加校5校 370名	-		狂言「柿山伏」の芸術鑑賞及び狂言体験講座を開催。久良岐能舞台のコーディネーター担当は6回目。	
		□顧客満足度	90%以上	—	-		終了後、各校先生方にヒアリングを実施。大変ご満足いただけた。また、生徒からお礼の手紙もいただいた。	

平成29年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

3 能楽等の稽古、発表その他の活動支援の取組	8 能楽等の稽古、発表等の活動支援に向けた外部専門家による助言・指導体制等の確保	■それぞれの講座に各流儀の能楽師を指導者に迎えて実施(日本舞踊講座においても同様)	実施	達成	-	流儀ごとの専門家を講師として迎えた。講座、流儀ごとのお稽古・発表会にて適切に助言・指導を実施。	【成果】 ・久良岐能舞台で行われている全ての能楽等(日本舞踊を含む)の稽古、発表等の活動について、専門家による指導・助言体制は確立しています。 ・利用者情報、活動継続に向けた情報の提供や支援として、HPに情報を掲載したり、興味を持たれた方へ活動団体の紹介を行うなどにより、7人の方を各団体へ御紹介することができました。  【課題】 ・古典芸能の愛好者減少傾向の中、特に能楽等の利用者団体の活動支援、活性化に関し、より具体的な成果を得られる方策を検討します。	【評価できる点】 ・利用団体の活性化に向けた支援を行い、新規団体の継続的な利用等の成果を上げたことを評価します。引き続き、利用者情報の積極的な発信や新規利用団体の掘り起こしに向けた取組の継続を期待します。  【改善が必要と考えられる点】 ・利用者支援として、現在の支援方法に限らず、団体側がどのようなサポートを求めているのかヒアリングを行うことで、新たな利用促進の取組に繋がると考えます。 ・団体支援と事業実施を一体で考えるとともに、利用者の活動支援に繋がる交流等を含めた各利用団体の発表の場の提供等、新たな取組についても検討をしてください。		
	9 利用者情報、活動継続に向けた情報の提供等による活動支援の実施	■利用者情報の提供	実施	達成	-	施設HPの月間スケジュールに「見学可」と掲載するなど、利用者情報の提供、活動継続に向けての支援を適切に実施。				
	10 利用者団体の会員募集支援など新たな愛好者の発掘等による利用者団体の活性化の実施	■利用者団体の会員募集支援	実施	達成	-	施設を定期的に利用する団体の意向に沿い、主催事業に会員募集のチラシを配布、掲示板へ掲示等の実施。				
4 能楽等の技術研鑽・育成支援への取組	11 能楽等の伝統芸能のすそ野を広げる様々な市民向けの謡曲・仕舞・囃子講座等の実施	「久良岐能楽教室 謡・仕舞」(初級) ※ 喜多流、金春流、宝生流の3流で開催	■実施時期 □参加者数 □顧客満足度	6月から通年 各流5名以上 90%以上	6月から通年実施 延べ308名 100%	B B A	受講生にヒアリングを実施。	【成果】 ・高齢化が著しい能楽愛好者の減少に対応して、若返りや新たな愛好者の育成を図るための事業として平成23年度から始めた能楽講座に関しては、謡・仕舞講座で5度目の修了者を出し、公共施設においては能界で初めての通年型養成講座として注目を集めました。また、講座を継続することにより、研鑽会(発表会)において、受講生のみで舞囃子を行うという目標を掲げていましたが、平成29年度に達成することができ、能楽愛好者の育成に寄与することができたと考えます。 ・講師の能楽師と共に設定した目標水準である、受講生による舞囃子の実現を、昨年度に続いて今年度の研鑽会においても、シテ方各流で実施、謡、仕舞、囃子の各講座で達成することができました。 ・日本舞踊基礎講座においても3名の講座修了者を出しました。 ・講座修了者の多くは引き続き当館において稽古に励んでおり、能楽愛好者の育成に貢献しました。 ・日本舞踊を含め、能楽等の全ての講座を対象にステップアップのための指導体制を確立しています。 ・前年度は喜多流講座の受講者数は定数に達していない状況のまま開催しておりましたが、今年度は毎回約10名以上が参加し、初級講座においても新たな受講生を取り入れることができました。  【課題】 ・能楽講座や日本舞踊基礎教室においては、現受講生は過程を修了し、当館事業とは別に各講師に師事を仰ぎ、稽古に励んでいただいております。そのため毎年新たに受講生を取り入れる必要があります。年々能楽愛好者が減少している中で毎年新たな受講生を見つけるのは難しいですが、チラシの配布先を変更したり受講料にタクシー代を含める等の方法を検討し、受講生獲得に向けた工夫を行ってまいります。	【評価できる点】 ・古典芸能の愛好者の育成に寄与するため、能楽等を鑑賞するだけでなく、実際に体験し、継続的に稽古をする機会を提供するとともに、お囃子の合奏や舞囃子等のステップアップをするための取組を行っている点を評価します。  【改善が必要と考えられる点】 ・公共施設での講座であることを鑑みると、古典芸能のすそ野の拡大により一層の寄与をすることが必要です。講座の広報手法を見直すことや、地域との連携等により子どもたちの参加に向けた対応を行うなど、より積極的な取組の実施を期待します。 ・市民の中では、古典芸能に関心があるものの、敷居の高さを感じる方も多いため、通年の講座参加に向けた体験会の拡充、講座の開講後も体験ができることを周知すること等により、親しみやすい機会提供の継続的な工夫が必要と考えます。	
		「久良岐能楽教室 謡・仕舞」(中級) ※ 喜多流、金春流、宝生流の3流で開催	■実施時期 □参加者数 □顧客満足度	4月から通年 各流5名以上 90%以上	4月から通年実施 延べ575名 100%	B B A	受講生にヒアリングを実施。			
		「久良岐能楽教室 囃子」	■実施時期 □参加者数 □顧客満足度	6月から9月 8名以上 90%以上	6月から10月実施 延べ90名 100%	B B A	受講生にヒアリングを実施。			
		「日本舞踊基礎教室」※2年制	■実施時期 □参加者数 □顧客満足度	5月から通年 10名以上 90%以上	5月から通年実施 延べ137名 100%	B C A	受講生にヒアリングを実施。			
		「久良岐能楽教室 囃子合奏研究会」(上級)	■実施時期 □参加者数 □顧客満足度	通年 毎月1回 12名以上 90%以上	5回開催 延べ80名 100%	C B A	講師のスケジュール確保が難しく、開催回数が減少。 参加者にヒアリングを実施。			
		「日本舞踊基礎講座受講生発表会」	■実施時期 □参加者数 □顧客満足度	10月15日 40名以上 90%以上	10月14日 35名 100%	- B A	受講生・来館者にヒアリングを実施。			
		「久良岐能楽講座受講生研鑽会」	■実施時期 □参加者数 □顧客満足度	10月29日 50名以上 90%以上	10月29日 63名 100%	- A A	受講生が知人等を招待したおかげで、予定を上回る盛況だった。 受講生・来館者にヒアリングを実施。			
		■能楽や日本舞踊等の伝統芸能を学ぶ講座受講生や愛好者に活動の成果を発表する場として久良岐まつりプレイベントなどを設定し、伝統芸能の積極的な担い手として育成	実施	10月14日、10月29日、12月9日実施	・久良岐能楽講座受講生研鑽会(喜多流、宝生流、囃子) 10月29日 参加者数63名 ・日本舞踊基礎講座受講生発表会 10月14日 参加者数35名 ・金春流研鑽会 12月9日 参加者数21名					
		12 能楽等の経験者を対象とした講座の実施による、ステップアップのための指導体制を設定								
		13 能楽等の講座受講生・愛好者等の活動発表の場を提供、積極的な担い手育成の実施								

平成29年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

5 能楽等と市民を結びつけるための情報提供及び広報・プロモーション活動の実施	14 WEB ページ等による施設案内、講座情報等の積極的な情報発信の実施	■情報提供サイト上に、施設案内情報、施設利用情報、自主事業情報等を掲載	実施	達成	-	HPにて施設の紹介、各種情報提供を実施。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>WEBサイトは常に最新情報に更新すると共に、職員によるスタッフブログ等での馴染みやすい記事とすることに努めました。その結果、WEBページの閲覧数は、9月分がサーバ移管のため集計できず数値に含まれていないにもかかわらず、前年度の実績を上回ることができ、より多くの方に情報発信することができました。ブログの閲覧数においても前年度比235%と大幅に増加しております。引き続き、分かりやすい情報発信と常に動きのあるWEBサイトの運用を心がけます。</li> <li>自主事業等の情報提供はWEBサイトの他、訴求力があるチラシ制作を心がけ、市内外の公共施設、文化施設、鉄道駅等着目されやすい場所にチラシ配架を行う他、近隣地域では公共及び自治会掲示板等にも掲示して市民の身近な場所での情報提供に努めました。その結果、公演におけるお客様アンケートでは、初めての来館者が36%に対して、2回以上の来館者が64%と、昨年度に比して19%複数回の来館者が増加しました。</li> <li>公演におけるお客様アンケートの回収率は、職員の呼びかけにより、平均76.3%の回収率となり、多くのお客様のご意見を集めることができました。</li> <li>個人情報保護や人権侵害について、年1回の社内研修を実施し、職員の意識向上を図って、適切な施設運営に努めました。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分かり易く閲覧しやすいWEBによる広報の展開を目標とし、WEBサイトの再構築に向けて検討を進めます。具体的には、「アクセス」ページが二階層にあり、分かりにくいいため、TOPページの目立つところに持ってくることや「利用案内」ページについてはスクロールをしなければ利用料金や申込方法が出てこないため、利用状況とページを分けることを検討しております。スマートフォン対応を強化致します。</li> <li>また、TOPページにつきましてもドローンで撮影した映像を流す等、興味がそそられるようなTOPページにすることを検討しております。</li> </ul> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウェブサイトやダイレクトメール等を活用し、施設や事業の魅力を伝えるための情報発信を積極的に行うことにより、リピーターの増加等の効果を上げていることが確認できました。</li> <li>個人情報の漏えい等がないよう、随時研修を行うなど、職員一人一人が個人情報の取扱いを注意するよう適切に取組みを行っていました。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設自体の認知度を高めることや、初めて来館する方の増加のため、WEBページ等は誰もが情報を得やすいデザインにするとともに、若年層等の古典芸能に関心を持つ人が少ない層や施設への頻繁な来館が難しい方への情報発信の手法の検討等を期待します。</li> </ul>
		■ホームページ上の掲載情報は常に最新の情報に更新	実施	達成	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間HPアクセス数93,932件(9月分はサーバ移管のため計数できず)</li> <li>スタッフブログ花頭窓アクセス数8,491件</li> </ul>	
	15 紙資料、ICT等を活用し、より身近に感じられるような広報・プロモーションの実施	■チラシやホームページ上への掲載、新聞等のマスメディアを通じた広報等、様々な方法、メディア等を通じて市民の目に触れる機会の拡充	実施	達成	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主事業情報等の新聞、雑誌等のメディアに掲載TV1件、新聞15件、フリーペーパー4件、広報よこはま5件</li> <li>自主事業等のチラシ配架 合計350か所</li> <li>DM配信 年5回実施 配信数3,557通</li> <li>他施設の情報提供 伝統芸能関係168件ほか628件</li> </ul>	
		■ICTの進展に添ってより多くの通信系メディアによる情報アプローチにも応えられるように検討	実施	検討実施	-	多様な通信系メディアによる情報アプローチを引き続き検討。	
	16 魅力的で訴求力があり、丁寧で分かりやすい情報提供の実施	■丁寧で分かりやすい内容を併せた、訴求効果のある情報提供を推進	実施	達成	-	魅力が感じられるHPの運用。(映画製作会社、放送用CM制作会社、映像コンテンツ制作会社等から数件の引き合いあり。)	
17 人権侵害や個人情報漏えい等への適切な配慮	■個人情報の漏洩や利用者、市民の人権を侵害することが無いように適切な運営管理を実施	実施	達成	-	利用者や参加者に関する情報等、個人情報や人権に関する事項に適切に配慮し、運営を実施。		
6 能楽等に関する地域との連携、事業の実施	18 施設と地域の相乗効果を発揮し、能楽施設に親しみ、伝統芸能の楽しさを味わうための事業の実施	「第11回久良岐まつり」				毎年、地域市民と協働して開催していたが、今年度は台風接近のため中止となった。	
		■実施時期	10月21日・22日	10月21日・22日	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>能舞台催事</li> <li>・10月21日童謡コンサート 参加者数 35名、顧客満足度 100%、アンケート回収率 68.6%</li> <li>・10月22日狂言道場 参加者数 27名、顧客満足度 100%、アンケート回収率 96.3%</li> </ul>	
		□参加者数	2,000名以上 (プレイベント参加者数を除く)	天候不良により中止	-	台風接近による影響で、久良岐まつりの庭園行事が中止となった。能舞台催事の参加者数は62名。	
		□顧客満足度	90%以上	—	-	能舞台催事の顧客満足度は100%	
	19 市民協働の視点による企画、運営、清掃等のサポートスタッフの活用・発展等の実施	■市民協働の運営	実施	実施	-	サポートスタッフによる運営への協働実施 事業運営: 自主事業実施時6名、DM発送時4名 庭園清掃: 13名	
20 本社のノウハウの横展開、他の古典芸能施設、市その他施設・事業等との連携拡大に向けた取組	■他の古典芸能施設や横浜市の事業等との連携に取組み、または検討	実施	実施・検討	-	事業は実施できなかったが、お互いの主催公演の際にはチラシを挟み込む等の連携を進めている。		

平成29年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H29年度計画		実施状況		評価	
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 能楽等の稽古、発表その他の活動への施設の提供に関する取組	1 公共施設としての公平・公正かつ能舞台としての利用ルール徹底等による適切な貸出業務の実施	■施設利用や提供について公平・公正に運用 ■能楽等の専門施設として適切な貸出業務を遂行	実施	実施	横浜市の公共施設として公平・公正に運用。 能舞台として求められる利用上のルールを広く利用者に徹底させるなどの実施。	【成果】 ・自主事業の広報のみならず、外部からの問い合わせにも積極的に協力するなど様々な機会を利用して施設の周知に努め、利用率の向上を図りました。 ・諸室の利用について営業を実施した結果、19団体の新規利用を獲得しました。 ・能舞台の利用率は各利用団体の高齢化に伴う人数縮小・活動頻度の減少による影響で、目標に届くことができませんでした。  【課題】 ・施設の知名度の向上を図るため、古典芸能以外の多くの市民が親しんでいるようなジャンルからコンサートを行う等、様々な方策を検討、実施します。また、併せて能舞台周辺の環境整備も進めていきたいと考えております。 ・平日午後・夜間区分と比べ、平日午前中の利用が極めて少なくなっております。利用団体はお昼ごろから活動される方が多いこと、当館はアクセスが良くないことから、朝から利用したいという団体が少ないことが要因ではないかと考えております。現状を改善するために、近隣の主婦や高齢者をターゲットとし、利用率向上の方策を検討してまいります。 ・施設利用の際の申請方法や支払い方法については、原則的には来館していただくことになっております。より利用者が簡単に手続きできるよう、HPから申請できるようなシステムや振り込みによる支払いを可能とする等の取り組みを検討してまいります。	【評価できる点】 ・公共施設として、適切に市民へ施設を提供していることを確認しました。 ・利用率については、提案内容に基づき、施設近隣で活動している団体へ営業活動等を実施するなどにより、概ね目標を達成していることを評価します。  【改善が必要と考えられる点】 ・古典芸能の新たな愛好者を増やすため、広報や営業活動の強化を行うとともに、施設自体の魅力の発信などを行い、新たな利用者や来館者の掘り起こしを行うことを期待します。
	2 開館時間・休館日、利用料金・割引料金・減免等の適切な設定	□開館日数 □開館時間 ■利用料金を適切に設定 ■年間休館日をホームページで公開 ■庭園内門扉の適切な管理	347日 9時～22時 ※夜間区分の利用が無い場合は、事前に周知の上、17時で閉館 実施 実施 実施	347日 9時～22時 ※夜間区分の利用が無い場合は、事前に周知の上、17時で閉館 実施 実施 実施	B 適切な開館時間の実施。 横浜市能楽堂条例のとおり実施。 毎月のスケジュールをHPに掲載。 開館時間に合わせた開閉の実施。天候等による危険時等、南部公園緑地事務所へ連絡し管理を行った。		
	3 支払方法等の利用者サービスの向上による利用促進の実施	■来館による利用申請手続きだけでなく、郵送による申請及び振り込みによる支払いを可能にし、利用者サービスを向上	実施	実施	- 郵送による利用申請及び利用料金の現金書留による支払を可能にした。振込による支払い方法も検討する。		
	4 利用率の適切な目標指標設定(コマ単位)	□能舞台 □和室 □茶室	50% 38% 11%	49.3% 38.9% 17.2%	B B B 新規でご利用された方がリピーターとなり、定期的にご利用いただいている。これにより利用率が上昇しました。		
	5 諸室の機能ごとに戦略的営業を展開し、新規利用者の増加に向けた取組	■本施設の機能に適した活動を市内の施設等で実施している愛好者団体等に戦略的に働きかけ、新規利用者の増加となる取組の推進	実施	実施	- 能舞台、和室、茶室等の機能に適していると思われる施設近隣で活動している愛好者団体・グループに働きかけをし、今後の利用に向けた施設見学のご来館を促した。		
2 利用促進・利用者サービスの向上への取組及びアイデア・ノウハウの活用等	6 運営会議等によるPDCAサイクルの確立	■毎月の運営会議において問題点の改善討議と方針策定、実施 ■次年度事業計画への反映	実施 実施	実施 実施	- 自主事業公演等の際の高齢参加者への対応、靴の取り換え対策等を実施。 改善点を次年度に反映。	【成果】 ・多くの施設見学希望者や利用者に対して、職員全員が丁寧に対応しました。 ・日報や日々の業務における問題点の発見、事業参加者や施設利用者からのアンケート集計結果などを検討対象としたPDCAの確実な運用を行い、自己業務評価を行いました。評価や点検の結果は全職員が共有し、次の業務改善へつなげました。 ・アンケートで頂いたご意見は、可能な限り取り入れるようにし運営に反映しております。再度来館されたお客様からは素早い対応にお褒めの言葉をいただきました。引き続き、お客様から頂くご意見は可能な限り運営に反映してまいります。  【課題】 ・施設利用者の増加を図るため、市内のコミュニティハウスや公会堂等でお稽古をしている古典芸能愛好者のグループ等に提案営業等の活動を行ったり、当館の知名度向上のための取り組みを行う等、新たな施設利用者の増加に向けて様々な取り組みを行ってまいります。 ・来館者数は、久良岐まつり中止の影響もあり、目標を達成することができませんでした。来館者数増加のために、まず久良岐能舞台の知名度を向上させる取り組みを今以上にやっていく必要があると考え、職員で検討しております。知名度向上のための取り組みの一つとして、入り口から能舞台へ続く竹灯籠の作成を検討しております。まずは当施設の強みでもある美しい庭園を活かして興味を持ってもらうきっかけづくりをしたいと考えております。	
	7 利用者アンケート、利用者との会議等による利用者ニーズの適切な把握、PDCAサイクルの実施	■アンケート回収後、翌日集計、職員等の関係者への回覧実施 ■事業終了後2週間以内の事業報告書作成と関係職員への回覧 ■直ちに実施できる改善点はすぐに実施	実施 実施 実施	実施 実施 実施	- 全ての施設利用者団体を対象としたアンケート調査を1月に実施。 事業毎のお客さまアンケートを回収後、集計し職員に共有。改善点を次年度に反映。 頂いたご意見は職員に共有し、実施できる改善点はすぐに実施。		
	8 苦情・要望等への適切な対応、改善に向けた取組の実施	■利用者・見学者等からの要望や苦情は、直ちに主任、館長に報告し、軽微なものについては即時対応するとともに文化振興課に電話、メール等で報告 ■苦情・要望は、月次の運営会議に報告、討議し、職員全員で共有 ■苦情・要望を月次のモニタリング資料に掲載	実施 実施 実施	実施 実施 実施	- 「椅子の配置が良くなく、舞台が見えにくい」、「鏡の間の備品が幕をあげたときに見えてしまう」等のご意見をいただき、すぐに対応を実施。素早い対応にお褒めの言葉をいただいた。 頂いたご要望は月次の運営会議で職員全員で共有し、対策を検討。 頂いたご要望・ご意見は毎月モニタリング時に共有。		
	9 利用促進に向けた、未利用枠と潜在的利用者のマッチング営業等の実施	■利用が少ない未利用枠の利用促進に向けて、潜在的顧客の掘り起こしとなる提案営業やお試し会などの戦略的な営業を推進	実施	実施	- 横浜市の公共施設・自治会・町内会・連合自治会・その他施設・団体等に適宜訪問、施設案内・販促を実施		
	10 施設見学希望者への積極的な対応、利用者への配慮の実施	■施設見学の市民への対応は、施設利用者の迷惑にならない範囲で全職員が積極的に対応 □来館者数	20,000人以上	約15,254名	C 全職員が積極的に丁寧に対応。 多くの来場者数を見込める久良岐まつりが中止になった影響もあり、目標に届かず。		
	11 施設内覧会等の実施による新規利用者の獲得に向けた取組	■久良岐能舞台の更なる市民の認知を促し、新たな利用者の獲得のために施設の案内・内覧会の実施を検討	実施	実施	- 施設利用の問い合わせに対し、積極的な案内を実施し、新規利用数件の成果あり。		
	12 未利用枠の有効活用に向けた積極的な営業活動の実施	■貸館のうち午前などの未利用枠が多い時間帯について、潜在的顧客に対して、それぞれに適切な提案をするなどの戦略的な営業活動を実施	実施	実施	- 撮影等で利用する団体に声がけしてみたが、成果に結びつかず。平日の午前区分はまだ利用が少ないままという状況。未利用枠を埋めていく方策を今後も検討する。		

平成29年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

3 運営組織の構造、組織的な施設運営	13	現場運営に最適な現場管理の実施	■能楽等の専門施設として必要な知見と実行のみならず、庭園に関しての知識を持って注意深く管理にあたり、職員全員が対応する ■不足しがちな労働力をボランティアスタッフの協力を得て遂行	実施	実施	-	職員に能楽鑑賞研修を実施。庭園の維持管理についても南部公園緑地事務所と連携しながら適切に実施。	【成果】 ・能楽等の古典芸能の専門施設として相応しい職員育成のため、近隣能楽堂へ赴き、能楽公演での研修を推進し、能楽に関する知識や意識の向上を図りました。	【評価できる点】 ・事務室のスペースの制約等があるものの、提案書に基づき、人員配置の増加を行い、安定的な施設運営に向けた取組を行っていることを確認しました。また、様々な研修へ参加することで、職員育成に努め、施設運営に生かしていることを確認しました。	
	14	適切な人材の配置・職能	■館長(統括管理責任者):1名 職員・主任(現場運営管理責任者):1名 職員(施設運営等):5名 職員(事業企画等):1名	配置	達成	-	適切な人員配置で運営。	【課題】 ・施設運営における市民協働を推進するため、自主事業や清掃作業、DM発送作業のみならず、業務の各面でのボランティアスタッフの配置活用を再検討します。これにより、職員では気づけない気づきをボランティアスタッフから得ることができ、業務の改善につながると考えております。	【改善が必要と考えられる点】 ・庭園の清掃等、施設環境の維持や事業の実施においてボランティアスタッフの活用を継続するだけでなく、市民と協働した施設運営を継続して実施できる体制を整えていることを期待します。	
	15	積極的かつ適切な職員育成の実施	■運営会議等を通じた能楽等の専門施設に相応しい認識の理解の促進や他施設での能楽鑑賞等を実施	実施	実施	-	現場の全職員に研修を実施。			
	16	アドバイザーの配置・活用	■能楽、日本舞踊・邦楽、古典芸能全般それぞれの分野について、専門家をアドバイザーとして委嘱し、専門施設としての一定の水準を確保するよう活用	実施	実施	-	能楽講座や日本舞踊講座等の各講師にご意見を伺い、運営に反映。			
	17	市民ボランティアの配置・活用	■公募による市民のボランティアスタッフ(サポートスタッフ)の事業企画、運営、庭園清掃等の各分野において活用を推進 ■市民協働の安定的な推進のため、ボランティア保険を付保し、市民と施設の利益となるように実施	実施	実施	-	平成30年3月末現在のボランティアスタッフ登録:14名 市民協働の安定的な推進のため、ボランティア保険を全員に付保。			
4 本市の重要施策を踏まえた取組	18	個人情報保護についての取組	■コンプライアンスの遵守と個人情報保護の徹底 □社内個人情報研修に基づき、確実な個人情報保護を實踐する	実施	実施	-	社内規定及び横浜市の方針に基づく個人情報保護及びコンプライアンスの遵守に関する研修を実施。	【成果】 ・コンプライアンスの遵守、個人情報保護等に関する社内研修により、事務作業の適切な遂行が図られました。 ・自然豊かな環境を維持するため、所管の南部公園緑地事務所と連携して問題に対応しました。 ・幾つかの能楽等の催事に外国人の参加があり、ワークショップや鑑賞などの機会を提供しました。	【評価できる点】 ・個人情報や人権の保護などに向けて、研修等を実施し、適切に業務が行われていることを確認しました。 ・日本の古典芸能の専門施設として、また、施設の有効活用に向けて、外国人に向けた対応等を運営面でサポートするなど、施設で実施ができることから積極的に取り組む姿勢を評価します。	
	19	情報公開についての取組	■「各年度の業務計画書」「各年度の業務報告書」「各年度の休日一覧表」のホームページでの公開、請求があった場合は事務所窓口において開示	実施	文書等の開示請求なし	-	管理運営に関する文書、施設の利用状況、貸出に関する情報等を、ホームページに掲載。	施設の利用状況等は6か月先まで公開し、詳細については3か月分を公開。 開示請求なし。	【課題】 ・来日外国人の能楽等の古典芸能鑑賞やワークショップへの参加に関して、事前の予約が無い場合が多く、また、アフターコンベンション等MICEの対応において日程変更が多いことも実現を困難にしており、観光MICE振興への取組上の検討が必要と認識しました。	【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。
			■施設の利用状況等、施設の貸出に関する情報は原則としてホームページに当該月の6か月先まで公開	実施	文書等の開示請求なし					
			■その他の開示請求については、事務所窓口で対応し、必要に応じて文化振興課と協議の上で対応	実施	文書等の開示請求なし					
	20	人権尊重についての取組	□人権尊重の考え方を施設内で共有する人権研修の実施	年1回	実施	-	3/19実施			
			■法令等を遵守して適正な管理業務を遂行	実施	実施	-				
			■公正、公平な管理 ■利用者の意思及び人権を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを提供	実施	実施	-	適切に実施			
21	環境への配慮に関する取組	■施設内外の美観を維持するため、毎日、庭園内及び門前周囲の清掃を実施	実施	実施	-	適切に実施				
		■環境上の問題になるような状況等を発見した場合、所管の南部公園緑地事務所と協議し、対応を依頼	実施	実施	-	庭園内で樹木の倒壊や危険が予測された場合、南部公園緑地事務所と協議・対応を要請し、実施。				
22	市内中小企業優先発注についての取組	■委託、購入、どちらの場合も横浜市内の中小企業に優先的に発注	実施	実施	-	施設の維持点検、保守・修繕にかかる業務を市内の中小企業に委託。				
23	その他 観光MICE振興につながる取組	■横浜市文化芸術創造都市の実現に関わる観光MICE振興のため、恵まれた自然環境と一体的に魅力を形成している施設の特長と共に、来日外国人にも能楽等の伝統芸能の鑑賞の機会の提供を通じて、目的の実現に寄与	実施	実施	-	来日外国人に古典芸能の鑑賞の機会を提供。 10/14ドイツバレー団一行様 来館				
5 その他施設運営に関する事項	24	能楽等の伝統芸能に関する次世代の育成につながる取組の実施	■横浜市中期4か年計画における課題である「子どもたちや新進アーティストの育成など、次世代育成の取組を充実」していく必要に対応して、地域の子どもたちを中心とする、能楽等の伝統芸能に関わる次世代の育成を取組む事業を推進するため、今まで以上に地域との連携を深め、市民の参加を推進	実施	実施	-	「小学校向け狂言鑑賞教室」 ・「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」の狂言鑑賞教室(アウトリーチ)の実施	【成果】 伝統芸能による子どもたちの育成については、社会貢献事業として毎年開催している小学校向け狂言鑑賞教室の実施と横浜市芸術文化教育プラットフォームのアウトリーチ事業への参加により、子供たちの育成に貢献しました。	【評価できる点】 ・地域の文化拠点として、子どもを中心とした古典芸能の次世代の愛好者育成に向けて積極的に取り組み、学校や自治会等の地域と信頼関係を築いていることを高く評価します。	

平成29年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H29年度計画		実施状況		評価	
Ⅲ施設管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 施設・設備の維持保全及び管理	1 施設・設備・備品等の維持管理・保全業務の実施	■業務の基準に従い、適切かつ確実に業務を実施	実施	実施	施設巡回保守点検 4回、能舞台谷樋上張り修繕、水栓金具電池交換、茶室・畳入れ替を実施。	<b>【成果】</b> ・庭園等の美観維持のための清掃管理は、職員による適切な維持管理活動のほか、久良岐能舞台サポートスタッフ(市民ボランティア)や磯子土木事務所所管のグリーンサポーター(ボランティア)も参加して実施し、これまで以上の活発な環境維持推進が行われました。また、公園を所管する南部公園緑地事務所に働きかけを行い、巨大化した樹木の伐採や剪定が実施され、池から水琴窟までの石段のズレを補修する等、適切な庭園管理が行われました。 ・庭園については、白石を敷き詰め明るい印象にしたほか、散策で訪れた方が寛げるようにベンチを設置し、どなたでも訪れやすい、ふらっと立ち寄っていただけるような雰囲気づくりに努めてまいりました。お客さまからも「明るくなった」とご好評いただき、自主事業の際は多くの方に庭園に設置したベンチをご利用いただいております。  <b>【課題】</b> ・能舞台の品質維持のため、宮大工等による専門家の点検と維持作業を検討します。	<b>【評価できる点】</b> ・市と連携し、施設及び広大な庭園の管理に係る情報共有を行い、適切に管理が行われていることを確認しました。 ・施設管理のうち、大きな比重を占める庭園の維持管理については、市民のボランティアを積極的に活用し、市民に愛着を持って施設に関わってもらうきっかけとするともに、市民協働による施設運営を行っていることを評価します。  <b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・特筆すべき事項なし。
	2 庭園等の周辺環境の維持管理・保全業務の実施	■安全で安心して利用できる久良岐能舞台の庭園環境を実現するため、所管の南部公園緑地事務所と緊密な連携を行い、快適な環境が保全されるよう対応	実施	実施	樹木の伐採、剪定を南部公園緑地事務所に要請し、実施。竹林整備、落葉堆積物除去、上・下池浚渫、老朽化・危険樹木等伐採、剪定、庭園刈込み、石段補修、庭園清掃を実施。		
	3 警備・安全管理業務の実施	■見回りの実施等、敷地全体の犯罪や火災等への警戒と事故等の未然防止活動と安全管理を実施	実施	実施	見回り: 日中 適宜実施、夜間 1時間毎実施。		
	4 専門的な見地に基づく能舞台、能装束等所蔵品の管理実施	■能舞台の日常点検を実施  □専門家に意見を仰ぎながら能装束の虫干し実施、定期的な防虫剤交換	実施  年1回	実施  9/2実施	毎日清掃時及び毎利用後に点検を行い、異常の有無、使用上の適否の観察実施。  能装束を保管している鏡の間の除湿機を常時稼働。和室管内の水取り剤、防虫剤を適宜交換。展示に併せて専門家による点検の実施。		
2 小破修繕への取組	5 日常点検等による、きめ細やかな施設管理に基づく予防保全の実施	■毎日の清掃時に各部分の目視による点検を行い、変化が見られる場合はより詳しく点検を行い、その状況に応じて対応	毎日	実施	日常点検に基づく予防保全を適切に実施	<b>【成果】</b> 施設の維持のため、障子の張替えや排水路・排水溝の点検・池の堆積物除去等、長寿命化のための維持管理を実施しました。職員自らの手で行うことで、費用の削減だけでなく、不具合や破損についてすぐに発見することができております。  <b>【課題】</b> ・施設の老朽化が進んでおり、指定管理者で対応できることや日常点検は適切に実施していますが、引き続き市と連携し、順次設備更新等を行ってまいります。	<b>【評価できる点】</b> ・利用者が、施設を快適に使用できるよう、指定管理者が対応できる範囲できめ細やかに施設管理が行われていることを確認しました。引き続き、市と連携し、施設や設備の維持保全に努めてください。  <b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・特筆すべき事項なし。
	6 施設長寿命化の観点に基づく施設管理の実施	■施設を長寿命化する観点から、少しの不具合も見落とすことなく、また、不具合に対しては直ちに適切に対応	実施	実施	梅雨時等、平均的に湿度が高い時期は、施設の各所で湿度による腐食や膨張が発生し、扉や間仕切り、舞台の階が浮き上がるなどが発生した際も施設の長寿命化の観点から一部を使用見合わせにしたり、施設利用に支障が起きないように、対処。		
	7 迅速かつ臨機応変な施設管理・修繕対応の実施	■施設のいずれの部分においても不具合や破損等が発見された場合は、その状態に応じ適切に対応  ■小破修繕の対象となる場合は、できるだけ早く施設利用の妨げにならないように対応	実施	実施	不具合や破損が発見された場合、利用者の妨げにならないよう迅速かつ適切に対処。		
	8 小破修繕の適切な実施	■職員が修繕対応する場合、施設利用者の妨げとならない時、施設利用が無い時、或いは休館日に実施  ■専門業者に委託する場合、市内の複数の業者から見積りを徴収し、最低価格の業者に委託  ■現に設置されている設備の場合は同一製造者の市内代理店等を基本とし、参考の為その他の業者からも見積りを徴収	実施  実施  実施	実施  実施  実施	利用者の妨げにならないよう適切に対処。  畳の入れ替や能舞台谷樋上張りの修繕等、専門業者に委託する場合は、適切に業者選定の上、委託。		
3 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理	9 庭園内の安全管理、火災予防の実施、危機管理対策	■大きく成長した樹木の多い庭園、純木造の建物の施設であり、安全管理や火災予防など、全体的な観点から安全管理等の危機管理対策を推進	実施	実施	・庭園内にある老化した樹木や警戒を要する枝、降雨時の滑りやすい階段や斜面で事故が発生しないよう、予防措置を実施。 ・災害の予測に基づく対応・対策・訓練を実施。 4/17 火災受信機操作訓練 7/10磯子消防署指導による防災訓練、AED取扱い訓練 10/16 火災受信機操作訓練、消火訓練 1/22 火災受信機操作訓練、消火訓練	<b>【成果】</b> ・磯子消防署指導による防災訓練を実施し、緊急時の対応について今一度見直しを行いました。 ・庭園における事故を未然に防止するため、巨大化樹木の伐採等、南部公園緑地事務所と緊密に連携して対処しました。これは、事故の防止だけでなく、景観の維持にもつながっております。  <b>【課題】</b> ・強風雨等、激甚災害化する天候で被害を受けやすい谷戸地形にあるため、職員が適切に対応を行っているものの、効率的な対応処置方策について検討を行ってまいります。	<b>【評価できる点】</b> ・緊急時に速やかな対応ができるよう、適切に職員の配置を行うとともに、マニュアルの整備や防災訓練等を適切に実施していることを確認しました。  <b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・施設の特性や立地において、災害等の影響を受けやすいため、引き続き適切な施設管理を継続して実施していただくとともに、緊急時には市と連携して対応を行ってください。
	10 危機管理マニュアルの整備と非常時対策訓練の実施	■久良岐能舞台及び敷地等における災害の予測に基づく対応マニュアルの整備と、対策・訓練を実施  ■施設内及び庭園内における事故等の発生を未然に防止するため、危険箇所の早期発見や危機発生の可能性に注意し、日常的に点検し、対処  □事故等発生時の対応について、防災訓練を全職員で実施	実施  年2回	実施  実施	横浜市災害対策に基づき、危機管理マニュアルの整備を推進。  施設内及び庭園における事故発生を未然に防止するため、危険箇所の早期発見、危機発生の可能性を日常的に点検、対処。  6/20、10/16実施		
	11 緊急時(事故・犯罪の発生時)の対応方針、対策	■緊急事態が発生した場合は、直ちに必要な措置を講じるとともに、文化振興課を含む関係者に対して緊急事態発生を旨を通報、市と協力して原因調査を実施	実施	実施	防災訓練において対応措置の実施訓練を行った。		
	12 感染症対策等の衛生管理の実施	■日常的に衛生管理を行うため、玄関の分りやすい目に付くところに消毒薬を配置  ■新型インフルエンザ、感染性胃腸炎(ノロウイルス等)等の感染や拡大を防ぐ目的で、保健所の指導を受けて対応マニュアルを整備  ■汚物(嘔吐物や糞便)については、適正な方法で処理し、消毒  ■衰弱した鳥や動物、死亡した鳥や動物を発見したときは、磯子区福祉保健センターに対応方法を相談	実施  実施  実施  実施	実施  実施  実施  実施	玄関入ってすぐの待合室に消毒薬を配置。  感染症対策のマニュアル整備を推進。  感染症対策等の衛生管理は適切に実施。  鳥の屍骸を発見した際は、資源循環局に報告し、専門業者に処理を委託。		

平成29年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

4 防災に対する取組	13 緊急時の連絡体制・役割分担(職員体制)	■久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に提出するとともに、全職員に周知徹底	実施	実施	- 久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に報告すると共に、全職員に周知。	【成果】 ・防災対応として、磯子消防署の指導を受けて年2回の定期的な消防・防災訓練を実施、全職員が円滑な対応ができるように継続して取り組んでいます。  【課題】 ・施設のスペースに限界があることから災害発生時への十分な備蓄はできておらず、今後に向けた検討を進めてまいります。  【評価できる点】 ・業務の基準等に基づき、防災訓練や災害対応等が適切に行われていることを確認しました。  【改善が必要と考えられる点】 ・例年通りに防災訓練を行うのではなく、夜間等の人員配置が少ない状況や公園施設として起こり得る災害の対応など、公共施設として想定しうる様々なケースに対応した取組の実施を検討することを期待します。
	14 自衛消防組織の結成、平常時の防火・防災対策	■甲種防火管理者を選任すると共に久良岐能舞台防災計画書を作成し、所轄の磯子消防署に提出	実施	実施	- 自衛消防組織と平時の消火・防災対策の実施。	
		■自営消防組織を結成し、日常の防火、防災に努める  □横浜市防災計画に基づき、定期的に消防、防災訓練を実施	実施	実施	- 久良岐能舞台の職員数は少人数であるため、全員が消火・避難・連絡に当たれるように対応。  ・4/17,10/16,1/22(株)ニチナンメンテ指導による火災受信機操作の実施 ・7/10磯子消防署指導の下消火・AED取扱い前講習会体験実施	
	15 災害発生時の取組、施設状況の把握	■直ちに消防署等に通報すると共に、緊急連絡網に記載された通り関係者に対して緊急事態発生を通報し、必要な措置を講じつつ状況の把握に努める	実施	実施	- 災害発生時の連絡、状況把握等について、必要な対応がとれるよう訓練を実施。(Ⅲ 3 9のとおり)	
16 災害時等の市への協力	■災害等が発生した場合、市に協力してその原因調査を行う	実施	実施	- 8/2 豪雨、地震発生。異常無しと報告 9/18 台風18号。被害無しと報告 1/6地震発生。異常無しと報告 1/22 積雪状況の報告。翌日、除雪の報告 3/21 積雪 異常なしと報告。		
	■大規模な災害等が発生し、行政機関において災害対策本部等が設置された場合は、その指示に従うと共に、行政機関の災害対応に協力	実施	実施	- 異常気象、地震、火災等の場合、規模に関わらず文化振興課に報告。 防災訓練において、防災伝言ダイヤルに連絡訓練を実施。		
5 その他施設管理に関する事項	17 光熱水費削減努力	■施設稼働率の上昇に伴い光熱水費が増加傾向につき、施設利用の無い時間は原則として消灯、空調機停止など、電力削減に努める	実施	実施	- 目標以上の削減を達成。	【成果】 利用のないときは電気を消す、空調管理を適切に行う等の節減努力により、光熱水費は目標額よりさらに節約することができました。  【評価できる点】 ・設備の点検や清掃等、きめ細やかな節電等の対応を行うことにより、光熱水費の削減に努めていることを確認しました。  【改善が必要と考えられる点】 ・設備等の不具合の早期発見にも繋がることから、引き続き、注視等を求めます。
		□光熱水費	年間150万円	1,401,199円	B	

評価項目		H29年度計画		実施状況		評価	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 適切な収支構造及び収支バランス	1 収支構造の検証	■厳しい収入と欠かせない費用のバランスについて、常にチェックを行い、不適切な収入とならないように推進	実施	実施	チェック ・伝統芸能愛好者の育成に要する費用は、講座在籍者が増加した結果、改善した。 当期講座収支実績 -795,600円(前年度:-1,436,000円)	【成果】 ・久良岐能舞台はまだ知名度が低いということと、交通の便が良くないという課題点を持っているため、多くの事業で望ましい収支バランスを確保することが難しい状況です。そのため極力経費を抑制して事業を実施し、収支のバランスに近づける努力をしました。 ・指定管理料のみに依存しない収支構造構築のため、柱となる施設利用料の増収を図り、施設周知の向上を図りましたが、予算額を達成することはできたものの、前年度比8.3%減となりました。また、自主事業収入の不振を補いきれず、収支全体でも赤字となってしまいました。 自主事業については今後、能楽愛好者減少により受講生が減少することが見込まれ、催事については人気の高い狂言等の公演でも消防法の関係で、限られた人数しかご来場いただけないこともあり、収入の増加を図るのは困難な状況です。なるべく支出を抑えるための取り組みとして、チラシやチケット、プログラム等は職員自らの手で作成したり、音響や照明のオペレーターは社内のスタッフに依頼する等、経費削減に努めてまいります。  【課題】 ・経費削減には限界があるため、支出だけではなく、収入の面でも自主事業収入の改善方策を検討します。	【評価できる点】 ・収支状況を適切に管理しつつ、必要性に応じて経費執行が行われていることが確認できました。  【改善が必要と考えられる点】 ・収入を拡大することや費用の抑制に努めていることは確認できているものの、全体の収支が赤字となったことは、持続可能な施設運営を行うにあたり、改善が必要です。 事業収入を高めるため、参加者の増加に向けて取り組むことや多様な収入源の確保に向けて検討を進めてください。
	2 予算・決算、収入・支出のバランス	■予算は守るべきガイドラインとして毎月の月次決算において確認し、四半期ごとに収支が適切にバランスするように運営  ■決算は月次、四半期、通期と行い、年度末においては目標とする収益が確保できるように実施	実施	実施	- 予算の実施に当たってはできる限り費用抑制に努め、全体として収支の均衡に努めた。  - 予算/決算、及び収入/支出はいずれも自主事業収支によるバランスが崩れた結果、赤字に傾いた。		
	3 自主事業収支の適切なバランス	■事業費見積の参加者数を確保するために必要な条件を検討し、それぞれの自主事業の収支の適切なバランス確保に努める	実施	実施	- 前年度に比べて改善はしたが、伝統芸能の集客力が低下している。 自主事業全体収支実績-2,034,183円(前年度:-3,440,027円)		
2 指定管理料のみに依存しない収入構造	4 指定管理料以外での収入確保に向けた構造づくり	■施設稼働率は高いものの、諸室別の利用率は低い部分があるため、改善を検討 ■自主事業については、主に講座の参加料収入が伸び悩んでいるため、改善を検討	実施	実施	- 施設の周知を図る広報の成果が得られた。 新規利用団体・・・19団体増  - 対象を絞った効率的な広報活動を行ったが、効果的な成果なし。	【成果】 ・婚礼写真の前撮り等、多様な新規利用者により、未利用枠の利用状況が年々改善されてきております。 ・貸館利用者増加のための営業の結果、新規利用者が増加しました。 ・「能の魅力発信プロジェクト 能 狸々乱」において、281,000円の助成金を獲得しました。  【課題】 ・自主事業アンケートから得られる情報は、より自由で幅広い種類の事業が望まれており、久良岐能舞台の施設特性とのすり合わせにより事業に反映させ得る企画の推進が必要。  - 協賛は得られず。  - 日本芸術文化振興基金 助成金 1件 281,000円	【評価できる点】 ・施設の有効利用のため、婚礼写真の前撮り等、能楽等の古典芸能を優先しつつ、利用がない枠の有効活用を積極的に行っていることが確認できました。 ・限られた指定管理料の中、市民からニーズのある能の公演を行うため、助成金の獲得等に努め、幅広い事業を実施していることを評価します。  【改善が必要と考えられる点】 ・事業や施設利用の料金の増加について、それぞれ単独で対応するだけでなく、複眼的な視点で検討を進めることが必要と考えます。 ・現在の収入だけでなく、地域の地元企業からの協賛など、多様な財源を確保するための検討を期待します。
	5 戦略的かつ積極的な貸館収益の増加に向けた取組	■諸室時間枠別にみた未利用枠の稼働を目標に、付加価値のある貸館営業を潜在的顧客に向けて多様な戦略的営業として展開し、貸館収益の向上を図る	実施	実施	- 古典芸能にとらわれず、能楽や茶室などの施設特性に適する新規の利用者にも営業的に働きかけ、貸館収益の向上を図る。 - 婚礼写真前撮りやWebビデオの撮影等、多様な新規利用者を獲得。		
	6 マーケティングを活用した事業推進による自主事業収入増加に向けた取組	■自主事業アンケート及び利用者に関するデータベースの分析で得られる情報により、選択的に事業収入の増加に寄与する取組を推進	実施	実施	- 自主事業アンケートから得られる情報からは、より自由で幅広い種類の事業が望まれており、久良岐能舞台の施設特性とのすり合わせにより事業に反映させ得る企画の推進が必要。		
	7 企業協賛、助成金等の活用によるファンドレイジングの実施	■自主事業に対する地域の企業等の協賛を開発し、事業収益の改善を図る  ■芸術文化振興基金、地域創造等の助成金を獲得するように企画し、事業が推進しやすい資金環境を整備	実施	実施	- 協賛は得られず。  - 日本芸術文化振興基金 助成金 1件 281,000円		

平成29年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

3 経費削減等効率的運営の努力	8 「選択と集中」による運営経費の抑制と利用者ニーズへの対応	■施設運営に関するデータから見る傾向及び利用者に関するニーズの傾向から、特徴的なニーズの推進及び、施設の使命としてなすべき事業を中心に運営経費の選択と集中を図る	実施	実施	中心的自主事業として能楽等の講座の運営を選択し、施設の使命として運営を推進。 自主事業全体の約4割もの費用を集中し、次世代の古典芸能愛好者の育成を図る。	<b>【成果】</b> ・久良岐能舞台としてなすべき事業及び望まれている事業を中心に実施しました。 ・利用者アンケート、事業参加者アンケート等をもとに職員全員で自己評価と点検を実施し、課題については改善するよう努めました。 ・日常的運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティングを通じて検討し、直ちに改善を実行しました。  <b>【課題】</b> ・伝統芸能の集客力が低下し、事業全体として改善を図る必要性が認識されました。伝統芸能以外の分野についても視野に入れ、事業内容について検討してまいります。古典芸能への長期的な対策として「四歳児からの能楽」を検討中です。施設の立地条件を生かして(畳の広間)礼儀・謡など物心がつく前に経験させます。	<b>【評価できる点】</b> ・利用者のニーズに沿い、事業の企画や施設運営を行うとともに、要望等へ適切に対応していることが確認できました。 ・市民の税金であり、限られた指定管理料を有効活用するために経費節減等に努める姿勢を評価します。  <b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・費用対効果の検証や経費執行に係るPDCAをまわし、引き続き、効率的な施設運営を行ってください。
	9 自己点検・評価による効率的運営の実施	■利用者アンケート、事業参加者アンケート、事業ごとの事業実施報告書等による自己評価と点検により改善点を抽出し、改善を推進	実施	実施	自己点検・評価による効率的運営を適切に実施。		
		■日常的施設運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティング等を通じて検討し、直ちに改善を執行	実施	実施	日常的運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティングを通じて検討し、直ちに改善を執行。		

評価項目		H29年度計画		実施状況		評価	
その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1						<b>【成果】</b>  <b>【課題】</b>	<b>【評価できる点】</b>  <b>【改善が必要と考えられる点】</b>

評価項目		H29年度計画		実施状況		評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標			説明	自己評価	行政評価
1						<b>●文化事業の総括</b> 古典芸能の愛好者育成のために行っている「久良岐能楽講座」は高齢化により、今後参加者が減少していくことが見込まれます。新規講座受講生獲得のために、これまであまりアプローチをしていなかった汐見台地域等にも積極的にアプローチをし、裾野を広げて広報活動を行う必要があると考えております。	これまでの実績を踏まえるだけでなく、第3期指定管理期間の提案内容の実現に向けて取組みを進めていることが確認でき、評価します。子どもを中心としたすそ野の拡大に積極的に取り組むことや他施設の利用団体への活動活性化に向けた営業活動・利用団体の会員募集を行うなど、継続的な取組がみられました。 事業に関しては、市民の方が能楽等の古典芸能により親しむことのできる機会を提供するだけでなく、施設の特性を生かした能や狂言の公演等を行っていることが確認できました。能や狂言を身近な能楽堂で見られることは、市民から期待されていることでもあると考えますので、事業の効果を検証しつつ、継続的な実施を期待します。 一方、参加者数が目標に達しなかった能楽や日本舞踊の講座等は、広報手法の見直しやターゲットの分析、利用者等のニーズに合わせた対応などの再検討等を進め、古典芸能に関わる愛好者の拡大に向けたさらなる寄与を期待しています。 施設運営においては、指定管理料のみに依存しない収支構造の確立に向けて、新規利用者の確保を推進していることが確認できました。引き続き、施設の魅力を積極的にアピールするなどにより、施設自体の愛好者を取り込むことや、新たな利用者の掘り起こし、リピーターの確保等に努めてください。 施設管理に関しては、庭園の維持管理を中心として、きめ細やかな対応がなされてきました。また、ボランティアスタッフを運営に生かすなど、地域の文化施設として市民協働を進めていることを評価します。今後も職員間や本市との情報共有を徹底することにより、施設の長寿命化を見据えた維持管理を行ってください。 第3期指定管理期間は、文化的commonsの形成への貢献が使命であり、地域や横浜地域の古典芸能の拠点として、現状以上に様々な市民が訪れ、愛される施設となることを期待しています。